



山田コンサルティンググループ株式会社

2012年3月期第2四半期決算説明会

2011年11月2日(水)

山田コンサルティンググループ株式会社



1. 2012年3月期第2四半期決算概要	3
●(1)山田コンサルティンググループ全体組織	4
●(2)第2四半期決算のポイント	5
●(3)第2四半期連結損益計算書概要	6
●(4)セグメント別損益状況	7
●(5-1)経営コンサルティング事業	8
●(5-2)不動産コンサルティング事業	9
●(5-3)資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	10
●(5-4)投資ファンド事業	11
●(5-5)FP関連事業	12
●(6)第2四半期連結貸借対照表概要	13
●(7)第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書概要	14
2. 2012年3月期通期業績予想	15
●(1)2012年3月期 通期連結業績予想	16
●(2-1)2012年3月期の事業戦略① 投資ファンド事業、FP関連事業	17
●(2-2)2012年3月期の事業戦略② 経営コンサルティング事業	18
●(2-3)2012年3月期の事業戦略③ 不動産コンサルティング事業	19
●(2-3)2012年3月期の事業戦略③ 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	19
●(3)リスク情報	20
(ご参考)山田コンサルティンググループ概要	21
●(1)山田コンサルティンググループの歩み	22
●(2)企業経営の理念	23
●(3)特色・強み	24
●(4-1～4)各企業の特色	25
●(5)連結業績の推移	29



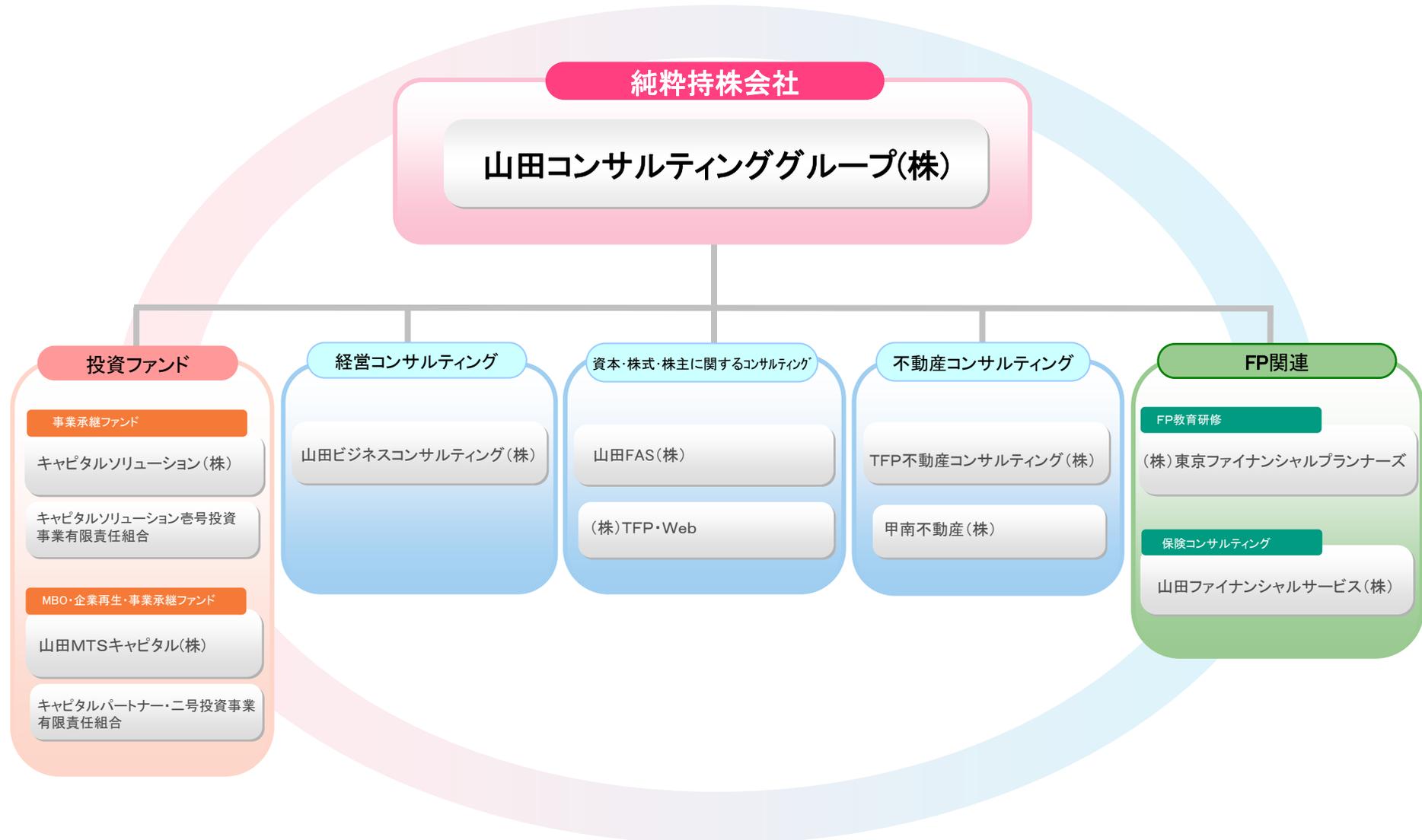
山田コンサルティンググループ株式会社

1. 2012年3月期第2四半期決算概要

(1) 山田コンサルティンググループ全体組織



山田コンサルティンググループ株式会社





(2) 第2四半期決算のポイント

総括

経営コンサルティング事業及び不動産コンサルティング事業が順調、投資ファンド事業及びFP関連事業が黒字化で増収増益

経営コンサルティング事業

引き続き企業再生を中心としたコンサル案件の受注が順調で当初計画通りの業績を確保

不動産コンサルティング事業

不動産仲介案件の受注及び幅広いコンサル案件の受注が順調で増収増益

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

相談件数は順調も、受注が伸び悩み若干の減収減益

投資ファンド事業

事業承継ファンドでのキャピタルゲイン実現により営業利益確保

FP関連事業

厳しい事業環境が継続し減収も、コスト削減により営業利益確保

(3) 第2四半期連結損益計算書概要



山田コンサルティンググループ株式会社

単位:百万円	2011年3月期 第2四半期累計 (売上高比 %)	2012年3月期 第2四半期累計 (売上高比 %)	前年同期比	
			金額	比率(%)
売上高	2,456 (100.0)	2,906 (100.0)	449	118.3
売上原価	289 (11.8)	494 (17.0)	204	170.4
売上総利益	2,166 (88.2)	2,412 (83.0)	245	111.3
販管費	1,764 (71.8)	1,869 (64.3)	105	105.9
営業利益	402 (16.4)	542 (18.7)	140	134.9
経常利益	344 (14.0)	427 (14.7)	83	124.1
税引前利益	321 (13.0)	427 (14.7)	106	133.2
四半期純利益	166 (6.7)	236 (8.1)	69	141.7

経営コンサルティング事業及び不動産コンサルティング事業の受注が順調、加えて事業承継ファンドでの投資先2社の株式売却額の売上計上により前年同期比増収

経営コンサルティング事業及び不動産コンサルティング事業の業績が順調、投資ファンド事業及びFP関連事業が黒字化で前年同期比増益

(4) セグメント別損益状況



山田コンサルティンググループ株式会社

【売上高】

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	1,698	1,800	105.9
不動産コンサルティング事業	263	320	121.6
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	290	283	97.3
投資ファンド事業	3	289	—
FP関連事業	290	277	95.6
消去又は全社	△90	△64	—
合計	2,456	2,906	118.3

【営業利益】

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
経営コンサルティング事業	341	343	100.4
不動産コンサルティング事業	80	133	165.3
資本・株式・株主に関するコンサルティング事業	35	21	59.5
投資ファンド事業	△32	27	—
FP関連事業	△15	17	—
消去又は全社	△7	0	—
合計	402	542	134.9

(5-1) 経営コンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
売上高	1,698	1,800	105.9
営業利益	341	343	100.4

- 引き続き企業再生コンサルティングニーズが高く、企業再生案件の受注が順調
- 大型再生案件を複数受注
- メガバンク、地域金融機関との連携強化
- M&A事業本格稼働
- 本年6月に東北事務所新設

(5-2) 不動産コンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
売上高	263	320	121.6
営業利益	80	133	165.3

- 不動産仲介案件の受注及び不動産有効活用等のコンサル案件の受注が順調で増収増益
- 会計事務所へのアプローチを引き続き強化

(5-3) 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業



山田コンサルティンググループ株式会社

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
売上高	290	283	97.3
営業利益	35	21	59.5

- ファイナンシャルアドバイザー業務、デューデリジェンス業務、バリュエーション業務等の相談件数は順調も、受注が伸び悩み若干の減収減益
- 大手金融機関との営業ネットワークの更なる強化・充実に注力
⇒安定的な案件受注体制構築

(5-4) 投資ファンド事業



山田コンサルティンググループ株式会社

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
売上高	3	289	—
営業利益	△32	27	—

- 事業承継ファンドのキャピタルソリューション壱号ファンドにおいて投資先2社の株式売却によりキャピタルゲインを実現し、営業利益を確保
- キャピタルパートナー・二号ファンドでは、残存投資先2社の企業価値向上支援活動に引き続き注力
- 事業承継ファンドのキャピタルソリューション壱号ファンド(総額21.6億円)の平成23年9月末累計投資額6件、685百万円(投資残高は399百万円)

(5-5) FP関連事業



山田コンサルティンググループ株式会社

(単位:百万円)

	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	前年同期比(%)
売上高	290	277	95.6
営業利益	△15	17	—

- 厳しいFP教育研修事業環境が継続し減収
- 他方、商品構成の見直し等による原価低減及び業務効率化・合理化によるコスト削減により、若干の営業利益を確保

(6) 第2四半期連結貸借対照表概要



山田コンサルティンググループ株式会社

単位:百万円		2011年 3月期末	2012年 3月期 第2四半期末	増減額
資産 の 部	流動資産	4,661	3,998	△662
	固定資産	2,251	2,654	402
	有形固定資産	225	220	△4
	無形固定資産	27	23	△3
	投資その他資産	1,999	2,410	410
	繰延資産	5	4	△1
資産合計		6,919	6,657	△261
負債 の 部	流動負債	1,075	893	△182
	固定負債	472	404	△67
	負債合計	1,547	1,298	△249
純 資 産 の 部	資本金	1,599	1,599	—
	資本剰余金及び利益剰余金	3,596	3,736	139
	自己株式	△226	△238	△11
	株主資本合計	4,969	5,098	128
	その他有価証券評価差額金	1	△0	△1
	新株予約権	19	9	△9
	少数株主持分	380	251	△129
負債純資産合計		6,919	6,657	△261

(7) 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書概要



山田コンサルティンググループ株式会社

単位:百万円	2011年 3月期 第2四半期累計	2012年 3月期 第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	86	720	633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378	△497	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99	△355	△256
現金及び現金同等物の増減額	△391	△133	257
現金及び現金同等物の期首残高	2,969	3,001	32
現金及び現金同等物の期末残高	2,578	2,868	289



山田コンサルティンググループ株式会社

2. 2012年3月期通期業績予想



(1) 2012年3月期 通期連結業績予想

(百万円、%)

		第2四半期累計 (実績) A	通期	
			当期:公表数値 前期:実績 B	進捗率 (A/B)
売上高	2012年3月期	2,906	5,500	52.8
	2011年3月期	2,456	5,622	43.6
営業利益	2012年3月期	542	1,000	54.2
	2011年3月期	402	1,140	35.2
経常利益	2012年3月期	427	880	48.6
	2011年3月期	344	1,020	33.7
当期純利益	2012年3月期	236	480	49.2
	2011年3月期	166	475	35.0

- 引き続き経済環境が不透明 当分の間、慎重な経営を継続
- 経営コンサルティング事業は、引き続き順調な業績を確保
- 不動産コンサルティング事業は、市況の変化に機敏に対応し相応の利益を確保
- 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業は、営業ネットワークからの案件受注が順調に推移するものと見込み、前年度を上回る業績を目指す
- F P 関連事業は、事業環境が厳しく先行き不透明 コスト削減の徹底により営業黒字を目指す
- 投資ファンド事業は、引き続き二号ファンド投資先2社の企業価値向上支援活動に注力

(2-1) 2012年3月期の事業戦略①



投資ファンド事業

<キャピタルパートナー・二号ファンド>

- 投資先(2社)の企業価値向上支援活動に注力

<事業承継ファンドのキャピタルソリューション番号ファンド>

- 大手金融機関の協力のもと、事業承継問題を抱えている優良な中堅・中小企業をターゲットとして、慎重に投資案件を発掘

FP関連事業

- 法人マーケットにおけるFP資格取得講座斡旋先企業の深掘
- 顧客ニーズを的確に捉えたオーダーメイド型の企業向け実務研修の提案
- 商品構成の見直し等による原価低減及び業務効率化・合理化による徹底したコスト削減

(2-2) 2012年3月期の事業戦略②



経営コンサルティング事業

- 企業再生コンサルニーズへの対応を引き続き強化
- メガバンクに加え、地域金融機関、政府系金融機関、投資銀行、大手弁護士事務所、ファンドとの連携強化による確固たる営業基盤の構築
- 業務改善コンサルは、引き続き受注拡大を見込む
- 事業承継コンサル
⇒メガバンク・地方銀行の協力のもとに立ち上げた事業承継ファンドの運用、事業承継コンサルニーズへの対応強化
- M&A事業本格稼働
- 中国、アジア関連コンサル体制構築

(2-3) 2012年3月期の事業戦略③



不動産コンサルティング事業

- 不動産市況への対応
不動産市況の変化にあわせ、物納コンサル、不動産有効活用コンサル等幅広いコンサルビジネスを展開
- 住宅の販売仲介業務、賃貸管理業務により、安定した利益確保を目指す
- 引き続き会計事務所へのアプローチを強化し、営業拠点の拡充・拡大を着実に実現
⇒収益機会の獲得へ

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

- 大手金融機関との営業ネットワークの拡大・拡充
- M&A及び事業再編に伴うワンストップ型のFA業務、財務デューディリジェンス業務、バリュエーション業務を引き続き強力に推進
- 優良企業オーナーの事業承継・資産管理アドバイザリー業務もワンストップ型で積極的に推進



(3) リスク情報

経営コンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩したときのリスク

不動産コンサルティング事業

- 不動産市況

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩したときのリスク

投資ファンド事業

- 投資ファンド事業のリスク・・・企業再生途上の企業に投資
⇒投資先企業の業績状況、株式評価、売却タイミングによる業績変動リスク

FP関連事業

- FP関連事業の商品構成・・・FP資格取得講座販売への依存度が高い
- 経済動向



山田コンサルティンググループ株式会社

(ご参考)山田コンサルティンググループ概要

(1) 山田コンサルティンググループの歩み



山田コンサルティンググループ株式会社

事業沿革		
1989年 7月	当社(旧株東京ファイナンシャルプランナーズ)設立	FP教育研修事業開始
1999年 7月	TFP不動産コンサルティング(株)を子会社化	不動産コンサルティング事業開始
2000年 7月	山田ビジネスコンサルティング(株)本格稼働	経営コンサルティング事業開始
2000年 8月	キャピタルパートナー・一号ファンド組成	ファンド総額11億円
2000年 10月	当社ナスダックジャパン(現JASDAQ)上場	
2001年 10月	TFPビジネスソリューション(株)設立(現 山田FAS(株)と合併)	上場支援コンサルティング事業開始
2002年 10月	当社(旧株東京ファイナンシャルプランナーズ)をTFPコンサルティンググループ(株)に商号変更し、純粋持株会社化	FP教育研修事業子会社(株)東京ファイナンシャルプランナーズ設立
2004年 4月	山田ファイナンシャルサービス(株)本格稼働	保険コンサルティング事業開始
2004年 12月	(株)オーナー企業総合研究所本格稼働(現 山田FAS(株)と合併)	オーナー企業、オーナー向けコンサルティング事業開始
2005年 3月	山田MTSキャピタル(株)設立 キャピタルパートナー・二号ファンド組成	事業再生投資ファンド事業進出 ファンド総額: 100億円
2007年 4月	山田FAS(株)設立	(株)TFP・Web、TFPビジネスソリューション(株)、(株)オーナー企業総合研究所の3社と経営統合・事業再編 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業
2008年 1月	キャピタルソリューション(株)設立 キャピタルソリューション専号ファンド組成	事業承継投資ファンド設立 ファンド総額: 21.6億円
2010年 12月	当社を「山田コンサルティンググループ(株)」に商号変更	

(2) 企業経営の理念



山田コンサルティンググループ株式会社

1. 健全な価値観 私たちは、信頼される人間集団として、健全な価値観を共有します。

健全な心、健全な価値観、を持ち維持し続ける組織だけが世の中に存在する意義があると信じ、我々は「健全な価値観」を最も重要な基本理念として位置付け保持し続ける。

何が健全であり何が健全でないかの基準をシンプルに示すことは難しいが、それは広く社会全体に肯定されるものでなければならず、悪や、小手先の小賢しい行動、自己の利益を追うために他を利用する行動等を心から嫌う価値観であり、個々の良心から湧き出る価値観である。我々が「健全な価値観」を失い、自己や我々の組織の利だけを計る行動をとるならば、その組織は即座に解体すべきである。

2. 社会貢献 私たちは、高付加価値情報を創造・提供し、顧客と社会の発展に貢献します。

顧客の成長・発展は我々にとって大きな喜びである。我々は、常に顧客の立場に立って物を考え専門サービスを提供し、顧客の発展に尽くす。

故に、グループメンバーは定式的形式的な役務提供だけでは決して満足せず、高度の専門知識と強い責任感を持って顧客に対しアドバイスし、役務提供を行い、もって顧客の発展ひいては社会発展に貢献するものである。常に発展する又は前進する意欲を持った顧客(企業)は我々にとって大切な仲間である。

3. 個と組織の成長 私たちは、個と組織の成長と調和をめざし高い目標を掲げる個を尊重します。

個人の成長と組織の成長は相互に強く貢献し合う。故に、社会性、大人性の備わった高い目標を掲げ、その目標実現に向けて努力する個人とその個性を尊重し、その個人の成長をともに喜ぶ。また、仕事は重要なものではあるが、個々の人生にとっては最終目標ではないのであるから、我々の組織は常に個と組織の調和を実現目標とする。

個を尊重し、個の成長を実現する為には組織もともに成長しなければならない。故に我々は組織自体の成長も重要な目的と認識する。



(3) 特色・強み

強固な顧客基盤と充実したサービス内容

- メガバンク・地域金融機関を中心とした有力金融機関との強い結びつきによる数多くの顧客を保有
- 企業再生から成長・拡大・事業承継に至るまでの多様なサービスをワンストップで提供

現場主義によるサービスを実践

- 現場に深く関わることによって、精度の高いサービスを提供
- 顧客からの信頼獲得により、良好な関係を継続

多彩な人材によるサービス提供

- 公認会計士・税理士といった会計人のみならず、様々な分野・現場で実戦経験のある人材によるサービスを提供
- 多様なコンサルティングニーズに対応するため、金融機関経験者、メーカー勤務経験者等の中途採用に加えて、様々な専門知識をもった多数の社員が在籍

(4-1) 各企業の特徴①



山田コンサルティンググループ株式会社

【コンサルティング事業】

山田ビジネスコンサルティング

- メガバンク・地域金融機関を中心とした金融機関に対する信用力
 - ▶ 中堅・中小企業に対するコンサルティング実績に基づく金融機関とのつながり
- 現場主義、独立系、中立系
 - ▶ 現場主義による実行力にこだわったコンサルティングサービスの提供
- 企業再生(B/S)コンサルから企業価値増大(P/L)コンサルへ
 - ▶ 財務コンサルティング(B/S)中心から、積極的に業務収益の改善を支援・実行する企業価値の向上を目的とする(P/L)コンサルティングへ

(4-2) 各企業の特徴②



山田コンサルティンググループ株式会社

TFP不動産コンサルティング

- 各分野の専門家とプロジェクトチームを結成し、最良な不動産処分・購入・投資・活用などの提案から確実な不動産取引の実現をサポート
 - 資産分析
 - 不動産有効活用
 - 相続・事業承継対策
 - 物納サポート
 - 不動産仲介
 - 賃貸管理システム

山田FAS

- M&Aアドバイザリー業務、資本政策実行のためのバリュエーションサービス、財務デューデリジェンス業務をワンストップで提供
- 経営・財務等の状況を踏まえた総合的観点から、オーナー経営者のニーズに応じた相続・事業承継に関するコンサルティングサービスを提供
- 顧客先に常駐し、顧客の問題を共有することにより付加価値の高いコンサルティング (IPO、経理・決算開示サポート) を提供
- オーナー企業に対して、資本・財務に関するコンサルティングサービス (資本政策、M&A、バイアウト、組織再編等) を提供

(4-3) 各企業の特徴③



山田コンサルティンググループ株式会社

【投資ファンド事業】

山田MTSキャピタル

■ 中堅企業を投資対象とした『MBO・企業再生・事業継承』ファンド

■ ファンド組成実績

- ① 2000年8月 第1号ファンド…ファンド内容: バイアウトファンド、株式公開を出口
既に投資完了(6社投資、全て投資回収済)
投資規模11億円 投資期間7年 延長1年 2008年12月31日解散
- ② 2005年3月 第2号ファンド…ファンド内容: MBO、企業再生、事業承継を切り口、M&A株式公開を出口
8社投資(2011年9月末現在 投資先残数2社)
投資規模100億円、投資期間8年

キャピタルソリューション

■ 経営コンサルティング事業の一環としての『事業継承』ファンド

■ ファンド組成実績

- ① 2008年4月 第1号ファンド…ファンド内容: 事業承継コンサルティングの一環としての機能
6社投資(2011年9月末現在 投資先残数4社)
投資規模21.6億円 投資期間8年

(4-4) 各企業の特徴④



山田コンサルティンググループ株式会社

【FP関連事業】

東京ファイナンシャルプランナーズ

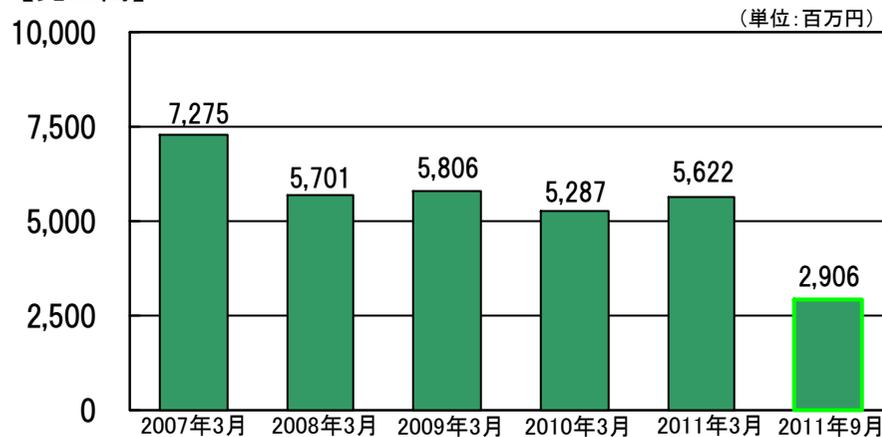
- ファイナンシャルプランナー(FP)教育研修の先駆者
 - 法人向けのファイナンシャルプランニング実務研修にも強み
 - 各企業の実務に沿ったオーダーメイド型のファイナンシャルプランニング実務研修を実施
 - グループカ、蓄積してきたノウハウ・ネットワーク
- FP教育研修事業 ●FPコンサルティング事業 ●出版事業 ●FP支援事業
- 会計人支援事業 ●確定拠出年金(DC)加入者教育・継続教育事業



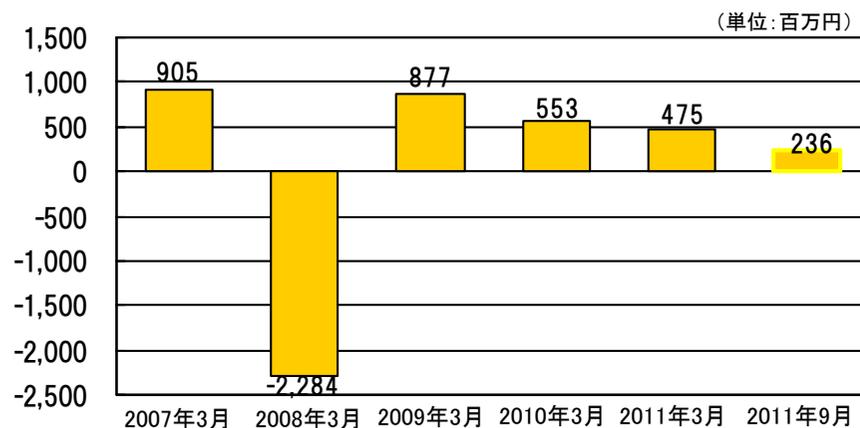
(5) 連結業績の推移

- ①2005年3月期まで:教育研修事業からスタート、コンサルティング事業を強化し、増収・増益基調で推移
→教育研修事業からコンサルティング事業を主体とする事業集団へ変貌
- ②2005年3月期以降:投資ファンド事業への本格進出(2005年3月期)により
山田MTSキャピタル設立(2005年3月)とキャピタルパートナー・二号ファンド(総額100億円)の組成
- ③2008年3月期、投資ファンド事業において多額の投資損失計上により大幅赤字決算
- ④2009年3月期、投資ファンド事業での損失処理の目途が立ち、黒字転換

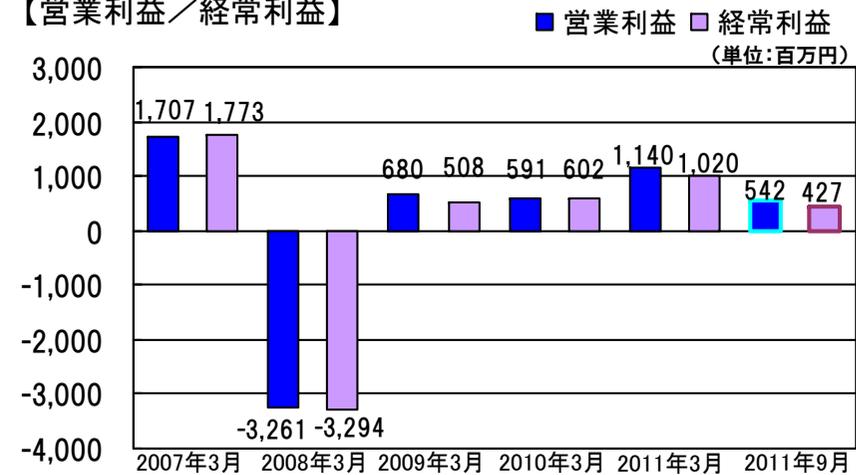
【売上高】



【当期純利益】



【営業利益／経常利益】



【総資産額／純資産額】





山田コンサルティンググループ株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知置き下さい。